

B5size Storybook仕上りsize182mm×257mm



TSUGU
YOSHITSUGU MARUYAMA
PHOTO



<https://tsugu-photo.com/> [✉ info@tsugu-photo.com](mailto:info@tsugu-photo.com) <https://www.facebook.com/tsugu.smile>



一歩先の、自分に出会おう。
人生を変える瞬間に立ち会うカメラマン

ぼくは、魅力を引き出すカメラマンをしています。
写心撮影ってモデルさんとか芸能人のためにあるものではなく
人間がより輝くための一つの手段。
自分を客観的に見たり、魅力を再確認したり、個性を把握し磨きをかけていく体験。
それが写心撮影です。
そんな素敵な体験が必要な人に届くようにこの冊子を作りました。

色々なご縁でこの冊子があなたの手元に届いたと思います。
ぜひじっくりお読みいただけたら嬉しいです。
撮影体験から意識が変わり、行動やあり方の変化を遂げた人の体験談の一部を
紹介しますので、そちらもぜひ、参考にしてみてくださいね。
そして、読んだのちに気持ちがザワザワしたらこの撮影体験が必要な方だと思います。
その時はご連絡お待ちしております。

人柄写心家 TSUGU

TSUGU
YOSHITSUGU MARUYAMA
PHOTO

01

Aki Iwata interview

ジュエリーデザイナー いわた あきさん

TSUGUさんは「相手も自分も信頼し切る人」



「本当はどうしたい?」に気付かせてくれた

「みんなのために」と思って、がんばり過ぎてたんですね。

ワイヤージュエリーの講座を立ち上げて、テキストも自分で作って、集客をして。そうすると思いがけず生徒さんが増えて、みんな喜んでくれて。それはすごく嬉しかったんですけど、「心が追いついてない」というか、自分がやりたいことは後回しにしちゃってたんでしょうね、今にして思えば。

そういう状態の時に、TSUGUさんを知りました。友人のFacebookライブにTSUGUさんが出演していたのを見たんです。

その時まで「プロに写真を撮ってもらう」というのは、七五三か、モデルさんしかしないものだと思ってたので、一般人がプロのカメラマンに撮影してもらうって、どんな感じなのかな?と単純に興味を持って。それから、TSUGUさんのライブ配信も見るようになって、TSUGUさんの人柄や、目指していることが段々わかつた。それで、「この人に会ってみたいな」と思って、撮影を依頼しました。

会ってみた印象は、すごく雰囲気の柔らかい人だなって。男性カメラマンってもっと威圧的だったりするのかなあって思っていましたが、すごく親しみやすさがあって。でも、「写真を撮られる」ということへの緊張感はあって(笑)。

TSUGUさんに会って撮影してもらうまで、私は私自身が「葛藤してる」、「モヤモヤしてる」ってことに気づいてなかったんです。でも、TSUGUさんから「本当はこうしたいんじゃない?」と、自分が本当にやりたいことを

TSUGU
PHOTOTSUGU
PHOTO

言い当てられて(笑)。向き合わざるを得なくなったというか。

次のステージへ進む「伴走」をしてくれた

最初にTSUGUさんに会ったときは、本当に「ジュエリー教室の先生」という立ち位置。でも、本当に自分がやりたいことは「ジュエリーデザイナー」として自分の作品を世に生み出すことでした。最初の撮影で、そのことに気づいて、次の撮影では「デザイナーとしての自分」として撮影をしていただくことになりました。

それは、見た目ももちろんそうですし、マインドの面でもそう。頭ではイメージできるけど、言葉や行動に移すとき、大きな壁を越えていくような感覚があって。次のステージへ進むのを、TSUGUさんが伴走してくれたような感じですね。

二回目の撮影の前、ショッピング同行していただいた時も「もう、デザイナーとして活動する人なんだから」という言葉をふいにかけてくれたり。その一言で「あ、そう思って良いんだ」と自分に許可が下りました。撮影中も、「ジュエリーデザイナーとしての自分」を意識して臨むので、表情や姿勢、大きめに言えば「在り方」が変わるんですよね。その姿を写真という、形あるものにしていただくので、自分でも変化を感じられて、「こんな風に変われるんだ」と感じました。

でも、決して引っ張っていくという感じではなく、私が振り返ると、後ろから背中を押してくれるというか。やっぱり、変化の中で立ち止まったり、方向性で迷うこともありました。でも「絶対に越えていいけるよ」と、態度や何気ない言葉で伝えてくれた。だから、TSUGUさんと接して、撮影を通じて自分を変化させてこれたのだと思います。



撮影を通して、自信が生まれた

TSUGUさんに会ってからの変化で言うと・・・変化が多すぎて(笑)。見た目は間違いない、大きく変わったと思います。これは撮影のたびに変わっているというか・・・。私が本質的に、あるいは潜在的に「こうしたい」と思っていることを理解してくれて、それをサポートし続けてくれる感じです。もちろん、自分が変化していくことに対しては葛藤もありましたけど、その葛藤を乗り越えるお手伝いを常にしてくださってるという感じです。TSUGUさんを一言で言い表すならば、「自分にも相手にも、絶対的な信頼感を持っている人」。根底から相手のこと、私のことを信頼してくれるのがわかるので、私も私に対して自信を持てるようになる。「いまの自分で良いんだ」と思えたのが、私にとってはすごくプラスでした。

もし、撮影してもらうかどうかで迷っている方に声をかけるとしたら、とりあえず行っとけと(笑)。自分が予想、想像した以上の世界が待っているので、少しでも自分の可能性を感じたいと思うならば、撮影してもらったら良いのではと思います。

02

Yuko interview
女神写真家 ゆうこさん

TSUGUさんは
「本当の自分に気付かせてくれる人」

TSUGU主催の写心の学校を卒業して、
現在は「女神写真家」として
活動しているゆうこさん。
主婦、ファッショコンサルを経て、
現在の活動を開始するに至った
経緯には、TSUGUとの
出会いがあったと言います。



「心を写す」写心だから見える変化

「がんばったな、わたし」って、今振り返っても思いますよ(笑)。

最初にTSUGUさんに撮影していただいたのは、新しいカメラの練習用モデル、
みたいな感じでした。私はその頃、それまでやってきたファッショコンサルの協
会を辞めて、これからどうしようかなと思っていた頃。ただ、ここ数年で一番太っ
てたんですね。

TSUGUさんのことは3年前くらいから知っていて、「痩せたら撮ってもらおう」と
思ってたんですけど、逆に太っていって(笑)。でも、撮影モデル募集の記事が
Facebookに上がって来て、「明日、行ける!」みたいな。何かの流れを感じて、お
願いしたんです。



TSUGUさんの写真には独特の世界観があって、被写体の女性が
美しい、だけじゃなく、小さい頃からの純粋無垢なところが表れて
いる気がして。私もこの世界観の中に入りたい!と思っていました。

撮っていただいた写真を見て、やっぱりTSUGUさんの写真だな
と思いました。すごくかわいく撮っていただいたし、その時の私の
良さを引き出してくれました。ただ、写真って客観的に見ることが
できるじゃないですか。分かってたけど、太ってるなと。そうすると、
隠しようがないので本気で痩せよう、というスイッチが入りました。

TSUGU
YOSHITSUGU MARUYAMA
PHOTO

自分で気付かない一面に気付かせてくれた

ただダイエットを頑張った、というだけなら、そこまで達成感や充実感を味わう
こともなかったと思います。 TSUGUさんは撮影の申込をすると、撮影までに取り
組む「美しくなる7step」というワークシートをくれるんです。それをノートに書き
出して答える、というのを最初の撮影から次の撮影までの3か月間、続けました。

その質問を自分に投げかけることで、その時の自分
の心や身体の状態、今自分が何を感じているのか、ど
う考えているのかを見つめる3か月になりましたね。

3か月経って、全然違います。まず、洋服のサイズ。
13号に近い11号だったのが、7号も入る9号になりました。トータル10キロは落ちたんじゃないかな。

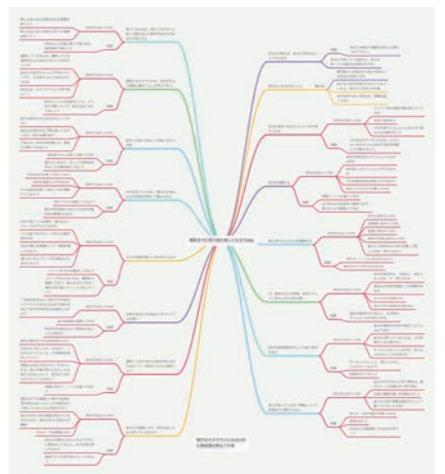


TSUGUさんの質問は自分の気づいていない一面を
引き出してくれるんですけど、「写真」というモノがあると、明らかにここに自分がい
て、それを客観的に見られる。 TSUGUさんの場合は「人柄写心家」と言ってるくら
いなので、撮影の時の心のありようが写し出されている。だから、変化が目に見え
てわかるんですよね。

TSUGUさんが教えてくれた写真の奥深さ

カメラを始めたのも、ある意味TSUGUさんのおかげ。もともとファッショコンサルをしていた時、お客様がいかにきれいに、かわいくなるかを撮りたくて、TSUGUさんに相談したんです。すると「一眼レフ、一緒に買いに行こう」と言って下さって。

使い方や撮り方で右往左往していると、TSUGUさんが写真の学校を始めるというので、即入学して(笑)。だんだん、撮影する側もされる側も、自分を見つめて、二人ともいい状態で写真を撮る、ということにハマっていました。





03

Ayumi interview

天然酵母を使ったパン教室
「ひなたぱん」主宰 やまもと あゆみさん

TSUGUさんは
「自由な人。自由でいい、と教えてくれる人」

「自立する」というテーマを持って
撮影に来られたものの、
当初は「外見を美しくする」ことに
興味がなかったと言うあゆみさん。
そんなあゆみさんに訪れた変化とは。



諦めと絶望の向こう側にあるものに気づけた撮影体験

TSUGUさんと出会う半年くらい前までは、パン教室は夫の扶養範囲内でできればいいや、みたいな意識がどこかにあって。もちろん一生懸命ではあったけど、「本気」でやると大変でしょ?と思っていました。

でも、ふと「本気で自立しよう」っていうのがおりてきて、それならばもう、やろう。そんな気持ちを色々な人に話す中で、「本気で仕事するなら、プロフィール写真を変えたほうがいい」と言われて、そこで紹介されたのがTSUGUさんでした。

正直に言うと、最初の撮影まで、私はずっと拗ねてたんだと思います。「私のことなんて誰もわかってくれない」と。理解してくれるのは、相棒の菌だけだと思ってた(笑)。ひどいですよね。

そんなことは顔に出さないけど、心底諦めていたし、人や自分に絶望していた。だから写真なんか撮っても微塵も変わらないと思ってました。仕事に必要だから写真を撮る、ただそれだけ。

でも、撮ってもらった写真を帰りの地下鉄で見た瞬間、瞳から3センチ幅くらいの涙がジャーって。TSUGUさんの撮影って撮って出しの写真をすぐもらえるので、



ちょっと半目的写真とか、大笑いしている写真もいっぱいあって。でもその中に私の心のなかにあったものをすくい上げてくれた1枚があったんです。その写真を見て、本当に自分の奥底に大切にしまっていたものに気づいてもらえた喜びを感じました。「なんでわかるの?」と思ったし、「TSUGUさんの才能はすごい」って。

TSUGU
YOSHITSUGU MARUYAMA
PHOTO

この、核心を突いた一枚があったからこそ、今の私がいます。

人生の起点となる一枚

私は、外見をきれいにすることは「どうでも良いこと」だと思ってきました。それより精神性を磨くべきだ、って。もちろん、それはそれで大切ですけど。

でも、TSUGUさんにショッピング同行してもらったり、撮影をしてもらうことで、自分に似合う洋服を着たり、身体を手入れしたり、髪をつやつやにすると、自分の細胞が喜ぶことがわかったんです。

女性は細胞やDNAレベルで美しくありたいと思ってる。でも、それに気づくと、現状維持ではいられなくなる。痩せたり、整えたり、あるいはもっと大きな現実を動かさなきやいけない。現状と折り合いをつけて生きているのに、それを壊して再構築するという面倒なことが起こる。



だから、見て見ないふりをする。それが以前の私でした(笑)。

その葛藤を乗り越えられたのは、TSUGUさんに対する信頼があったから、かな。最初の撮影で私の核心を突く一枚を撮ってください、「この人はすごい」と思えたのは大きいと思います。

色々な角度からテーマが飛んできて、最初の頃は今までの自分が崩壊するような経験もありました。でも、TSUGUさんは「絶対に大丈夫」と言い続けてくれて。そうやって、勇気を持って一步踏み出して、自分を大切にすると、大きさではなく人生が変わった。そのお手伝いをしてくださったのが、TSUGUさんでした。

「もっと自由でいい」と伝えてくれる



TSUGUさんは・・・自由な人ですね。自分を生きろ、ということを背中で見せてくれるし、そうなるように道先を案内してくれる人。自分らしく生きる方法を教えてくれつつ、見せてくれる人ですね。

TSUGUさんはいつも私に「もっと自由でいい」と言ってくれます。つい真面目に、無難にまとめようとするというか、みんなの目や意見を気にして、こっちの方がまろやかかなと思う方を選びたくなる私がいるんですよね。

でも、TSUGUさんは撮影も含めた様々なアプローチで、もっと自分の人生を輝かせるために生きていいいんだよ、と常に伝えてくれる。本当に感謝しています。

TSUGU
YOSHITSUGU MARUYAMA
PHOTO



思考停止した「問い合わせ」

「撮影さえしてもらえばいい」。そう思ってました。TSUGUさんのことは3～4年前から知っていて、仕事のプロフィール写真を撮る機会があり、それならTSUGUさんにお願いしようと思ったのが最初のきっかけでした。

で、撮影が始まって直感的に「これは普通とは違う」って。何というか、ゆるい(笑)。でも、撮影しながら会話をするうちに、深い話もして。「本当は何をしたいの?」って聞かれた時、思考停止したんです。私、本当は何をしたいんだろう?って。

TSUGUさんの撮影は、自分の内側にあるものに気付かせてくれるんです。ちょっと、見透かされてるみたいな感じで怖くもありましたけど。

でも、撮影中にものすごく話すわけじゃなくて。ただ、絶妙なタイミングで、内側を見に行かざるを得ないような問い合わせてくれる。だから、撮影中、自然と自問自答したり、自分の内面を見る時間になるんですよね。

写真が自分らしく生きている「証明」に

2回目の撮影時はショッピング同行もお願いして、前回はやらなかった事前課題にも取り組みました。2回目は自分をきれいに撮ってもらいたい、こういう風に見せたい、という気持ちが自分の中で芽生えました。こういう想いは、今までの人生ではなかったものでした。



出来上がった写真は、1回目とは全く別物。笑っちゃうくらい(笑)。それまでに7キロ痩せたのもあるけれど、自分らしく、たのしく生きていることが写真に表れてて。

それまでは、どこかで自分を押させていたのかもしれません。それが、2回目の撮影では自分が自分らしくいらしたり、写真そのものがその証明になっている気がしました。写真に写ってる自分を見て、「ああ、自分らしく生きられてるんだ」って。

1回目の撮影前には全く理解できなかった、撮影前に自分と向き合って、準備することの大切さがわかりました。そのことで、撮影の時にその人の人生や人となりが出る、ということなのかなあって。

自分と向き合って、惰性で生きていたらしないと思うんです。でも、2回目の撮影を前に、ちゃんと自分と向き合うということを意識してみたら、こんなにも変わるとかと思ったんです。写真も、人生も。

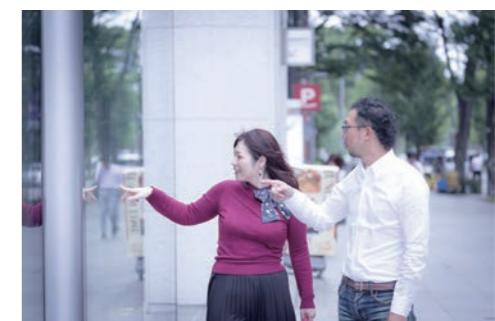
「このままでいいの?」と少しでも感じてる人へ

TSUGUさんは基本優しいんですけど、たまにジャックナイフのような言葉をかけてくるんです(笑)。悪口ではなく。その時はグサッと来るけど、最適なタイミングで言ってくれる。きついけど、なんでそんなこと言われたんだろう?と自分で考えるきっかけになる。

なぜこのタイミングで、こういう話をしたのか?と振り返ると、新しい気づきがある。もっと優しく言ってくれても、とは思うけど(笑)。

でも、自分で気付かないと変わらないですから。だから、TSUGUさんは「答え」は言わないんですよね。

TSUGUさんの撮影は「このままでいいのかな?」って、漠然とした不安や疑問を抱えてる方にオススメかな。心の中に1ミリでも「このままでいいの?」という疑問があるなら、TSUGUさんがちゃんと拾ってくれる。そうしたら、きっと何か気付きがあって、次に進めるんじゃないかなと思います。



「人柄写心家」TSUGUの撮影は、ココが違う

「『人柄写心家』ってどういうこと？」
 「他のカメラマン
 お客様の話を聞いて、さらに
 そこで、TSUGUの撮影

「どうして写真を撮るだけで人生が変わるの？」
 と何が違うんだろう？」など
 疑問が湧いてきたかもしれませんね。
 のヒミツ、少しだけご紹介します。

何もしなくていい。
 自然体でいる姿こそ、美しい

TSUGU:みんな「撮影」と聞くと、どうしてもポーズを付けたり、表情を作ったり、というイメージをするみたいで。「どうしたらしいですか?」ってよく聞かれます。でも、ぼくは「何もしなくていいよ」とお伝えします。

「手の位置は」、「足はどうする」、「身体の向きは」などなど、そういうことを気にし始めるとき、自ずと表情が硬くなっちゃう。でも、ぼくが撮りたいのは来てくれた方の自然な姿だし、そういう姿や表情こそが美しいと思ってる。

だから、あなたは何もしなくていい。何かするのは、カメラマンであるぼくの方。あなたは本当に気楽に、ありのままで、そこにいてくれればいい。そんな風に思っています。

撮影は「答え合わせ」。
 答えはあなたの中に必ずある。

TSUGU:ぼくのお客様は、年に2~3回撮影に来てくれる方がとても多くて、撮影を通じて「本当はどうしたい?」「それを実現するために、どうしたらしい?」を聞くことが多いです。すると、撮影後はその人が自分自身に期待しているし、未来に向けて意識が変わり始めていることがほとんど。

だから2回目や3回目の撮影はある意味答え合わせなんですね。自分が前回の撮影で感じたこと、決めたことをどれだけ取り組めたか。出来ても、出来てなくてもいい。でも、この撮影と撮影の間に自分がやってきたことや行動したことを、撮影で再度確認できる。そう感じてもらえるから、2、3回来てくれる方がとても多いんです。

きれいになってから撮られるのではなく、撮影されるからきれいになる

TSUGU:「痩せたら写真を撮りに行く」って話をよく聞くんですけど、ぼくは痩せてから、とか、きれいになってから撮影に行くものじゃないと思ってて。もちろん、それでも良いんだけど。

撮影に来てもらうことで、自分のことを今まで以上に良く知れたり、これからどうしたい?とか、向かいたい理想の状態が明らかになったりする、とぼくは思っています。

だから、写真そのものももちろん大切だけど、それ以上に「撮影する」という体験が重要。その経験を経ることで、より美しく、自分が望む姿に変わっていく。これは言い過ぎかもしれないけど、プロとして綺麗な写真を撮るのは当たり前、その上で僕は写真が撮影という体験のおまけみたいなものだと思ってて、(笑)、一回の撮影でその人の意識がどのくらい変わるか。その変化のきっかけを提供したいと思ってるんですよね。

洋服のコーディネートや
 ショッピングの同行で、新しい自分発見

TSUGU: TSUGUの同行ショッピングは、今までの延長線上ではなく、その人のなかにある「自分で気づいていない魅力」を見つけてもらう体験です。例えば、普段は着ないような服を選んだり、カジュアル系の服を好む人にモード系の服を着てもらったり。いつも地味な色を選びがちな方に、敢えて派手目な色を着てもらったりします。そういう経験を通じて、その人が新しい自分を発見して、さらに魅力的になる。そういう瞬間を見るのって、ホントに楽しいし、嬉しいですよ。



撮影を通じて
「人生に無理なことはない」って
伝えたい

「写真撮影」と聞くと、記念日に一枚、とか、
プロフィール写真にするために、など、
1回きりの撮影がほとんどだと思います。
でも、TSUGUのお客様は、1年に2回、3回と
きてくださる方も多くいらっしゃいます。
それは、「写真を撮る」ということそのものが、
その方の人生を大きく変えるきっかけになるから、なのです。

TSUGU *Story*
YOSHITSUGU MARUYAMA



常に身近にあったカメラ

写真、カメラは小学4年生の頃から、ずっと身近な存在でした。最初は『写ルンです』。それから、誕生日にデジカメを買ってもらったり。でも、大好き!とかそういうレベルのものではなく、本当に日常生活の中にあるもの、でした。

一眼レフを初めて買ったのは22歳の時。大学を出て就職して、初任給で何を買おうかな、と考えた候補の中の1つでした。何か特別な想いがあってカメラを買ったと言うよりは、テレビか、ゲーム機か、カメラの中から、カメラを選んだ、くらいの感じ(笑)。

ただ、一眼レフを手に入れてから、カメラにはドハマリしました。会社を定時で上がって、速攻で家に帰って、カメラを持って自転車を走らせて夕日を撮りに行く、なんて毎日を過ごしていました。当時は、風景とか花とかを撮ることが多かったです。

その人の周りの「空気感」も撮る

26歳で会社を辞めて、カメラマンとして独立しました。でも、完全に手探り状態。何をどうしていいかわからない。始めて半年は、仕事が5件しかなかったですよ(笑)。バイトはしていたけれど、どんどん貯金が減っていく。さすがに苦しかったですね。

ある時、「プロフィール写真撮影会」を開催したらいいよとアドバイスをもらって、2日間で約30人のプロフィール写真を撮りました。それから、特に人物写真を重点的に撮るようになってきました。

ぼくがカメラマンになる時、最初に決めたコンセプトは「その人を撮るのではなくて、その人の周りにある雰囲気や、空気感を写すカメラマンでいる」ということ。

そういう説明を何度もしていったり、そういう雰囲気が撮れていく中で、お客様側から「人

柄が写ってる」、「心が写ってる」と言われることが増えた。それで人柄写心家と名乗るようになりました。

「無理なことなんてない」と伝えたい

おかげさまで最近は、「撮影してもらったことで、人生が変わりました」とか、「感動しました」と言っていただけingが増えてきました。

どうして、そういうことができるようになったのか? うーん。どうしてですかね(笑)。

ぼくがやっているのは、撮影中などに相手とお話をしながら、疑問に思ったことや、僕が聞いてみたいと思っていることを深堀りしています。写真を撮りながら、今の状況や、これからどうしていきたいか、を聞く。「本当はどうしたいの?」と質問することは多いかもしれませんね。

ぼくが伝えたいのは、人生において無理なことなんて何一つない、ってこと。無理にしてる

のは自分だよ、と。何かを実現したければ、取り組めばいい。それだけなんです。

もちろん、やり方がわからないのはあるでしょうけど。本気で頑ったら人生は変わるし、やりたいと思ったことは絶対に実現できる。そういう想いは根っこにありますね。というのも、ぼくが人生を通じてそうしてきたから、なんです。それこそ、学校の勉強はオール3、特に国語なんてからきしダメだったぼくが、今では文章を書いて集客して、カメラマンとして生計を立てている。

これができるているのはやってきたからです。だから、やったらしいんだよ、って。ぼくが全然ダメだったからこそ、伝えられると思うんです。

例えば、カメラ。カメラの操作に集中しきると、被写体の良い表情を逃してしまうんです。だから、操作は無意識にできるようにしておく必要がある。





ぼくが撮りたいのは、撮影に来てくださった方の本当に自然で、美しい姿。ぼくが緊張したり、何かに意識を取られている状態だと、相手も意識してしまう。だから、ぼくは呼吸するかのように写真が撮れる状態でいることを意識していますね。

洋服を変えて、気持ちを変える

撮影のときに着る洋服のコーディネートやショッピング同行を始めたのは、そうすることでもっとその人自身の魅力を表現できると思ったから。元々女性誌を見るのは好きだったし、「撮影の時、どんな服装で行けば良いですか」と聞かれることも多かった。じゃあ一緒に行きましょうか、という感じです。

普通は予め下見に行って、お店や洋服の目星を付けておくんでしょうけど、ぼくはしません。最初に撮影に来てくださる方とカフェで会って、いまどういう状況でこれからどうしていきたいのかと言った話を聞かせてもらって、いろんなお店を見ていくのですが、僕が選ぶのはただ単に似合う服でなくその人の個性を輝かせる服。今までの延長線上ならこんな感じ、この服は今のに近いけど新しさもあるよねとか、こっちなら全く新しい一步を踏み出すよ、と同行しながら伝えていきます。普段パンツばかり履いている人に、敢えてスカートやワンピースを着てもらうこともあるし、派手な色を選ばない人に、敢えて着てもらうこともある。

そういう経験を通じて、自分が気付いていない

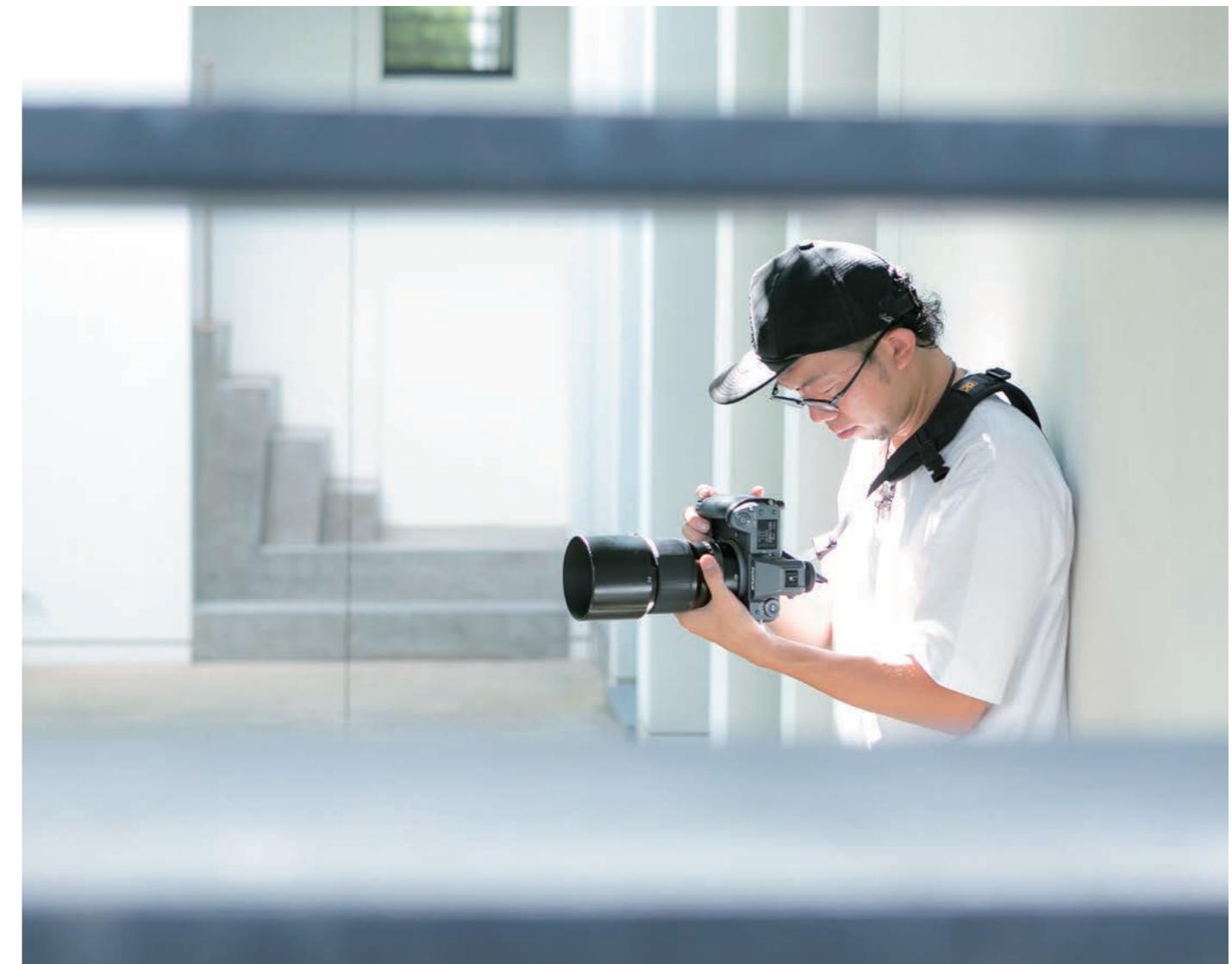
い魅力を引き出す一着と一緒に探していく。あるいは、いつもの延長線上にいる自分から少し飛び出してみる。そんな時間がすごく貴重だなとぼくは思っています。

散歩に来るような気楽さで

今年でカメラマンになって10年になるんですけど、とにかく最初の頃は何もできませんでした。でも、そこから積み重ねていろんなことを進化させ続けてきました。だから撮影に来てくれた方々にも「安心して飛び込んできて」と自信を持って言えるんです。だから、撮影に来てくれる方々にも「絶対に大丈夫だよ」と自信を持って言える。だから、何か人生を変えたいなとか、こうしたいけどできない、と思ってる人は、ぜひ撮影に来てみてほしいなと思います。

ぼくは、もちろん「写真」も提供していますけど、それ以上に「体験」を提供している、と思っています。撮影される、という体験。その体験そのものが、その人の人生を変える、あるいはその人自身を明らかにする体験になる、とぼくは思っていて。

そこから、どんどん美しく変わっていける。撮影での体験を通じて、来てくれた人の意識が変わる。そうすると、行動が変わるから起きる事象も当然変わっていく。だから、人生が変わるとぼくは思っています。とはいって、別に大変な決意や準備は要りません。散歩に来るくらい気軽な気持ちで、遊びに来てみてほしいなと思います。



撮影される、という体験。
その体験が人生を変える。

TSUGUの写心入門講座

自分の日常を、より彩り豊かにしたい人へ

Q 他の写真教室と、どう違うんですか？

A 僕がやりたいのは「写真」ではなく「写心」をお伝えすることです。なので、カメラマンになりたい方だけではなく、自分の日常をより彩り豊かにしたい人のための講座だと思っていただけたらと思います。

一眼レフを始めることで、人生が切り開かれていく。信じられないかもしれません、僕はそんな人を何十人と見てきています。日常自体は全く変わっていないのに、見方が変わっただけで人生が華やかになる。僕がカメラを始めた時から持っているこの味わいを共有したい。一緒に楽しむ人が増えてほしい。そんな想いで、この講座を始めました。



Q どんなことを教えてもらえるんですか？

A この講座では、『写心』の土台となる部分をメインで伝えていきます。カメラのこと、レンズのこと、写心の撮り方、被写体とのコミュニケーションのこと、などなど。なぜ写心なのか、心が写るのはなぜか。そんな部分を集中的に2か月間でお伝えします。

Q この講座を受けると、どうなりますか？

A まず、撮りたい写真が頭で考えなくても自然と撮れるようになります。それから、写真ではなく『写心』、ただきれいに写すのではなく、あなたの心が写った一枚を撮れるようになります。他にもたくさんありますが、控えめに言うとこんなところです。

Q 初心者でもOKですか？ついていけるかどうか心配で・・・。

A かなり内容は詰め込みですが、当日わからない部分はオンラインフォローもあるのでご安心ください。カメラ初心者・触って間もない人が対象なので、これから一眼レフ買う人でも問題ないです。ちなみに、宿題は毎回出します。やるやらないは自由ですが、やった方が早く成長できます。TRY&ERRORの数が多いほど上達するので、宿題でもレッスンでも、安心して失敗してください。



Q レッスンはどんな流れになっていますか？

A 最初のレッスン前にオンラインのサポートがあり、1回目のレッスン。その後に1回目の復習とサポートが入り、2回目のレッスン。その繰り返しを2か月間で合計3回行います。それと、僕への相談事や写心の添削は24時間受付可能にしました。できるだけ早く答えて、早く成長していただきたいという想いからなので、どんどん使い倒してください(笑)。



Q どんな人におススメですか？

A 例えば、こんな人たちです。一眼レフカメラを買ったばかり(これから買おうと思っている)で、基礎から覚えたい方／初心者向けの写真教室を探しているけど、ついていけなかつたら…と不安な方／イメージ通りの写真を撮りたい方／いつも自己流で撮ってはいるけど、もっと自分らしい表現を見つけたい方／楽しい瞬間を一枚の写真で表現したい方





Life design Photo

『新たなる旅立ち』

あなたの想いが、何よりも大切。

自分の人生をデザインする。自分の見た目もデザインする。どう見せたいか、どう見られたいか。

このサービスは、数千人をファインダー越しで見続け、その魅力を引き出してきたTSUGUと、あなたとが6ヶ月間かけて、憧れのあなたを見つけ、憧れのあなたを日常にしていくもの。

あなたが何を思っているのか、何を感じているのか、ほんとはどうしたいのか。あなたの想いが大事なのです。あなたがあなたの想いを大事にしていくと、全てが好転していく。これは、嘘のような本当の話。

あなたの人生は、あなたから始まっていくんです。あなたが人生を作っていくんです。あなたがあなたの人生に、もっと夢中になっちゃっていいんですよ。

新しい私、本来の私、生き方を選べる私。そんな私を始めるには、理由なんていらないよ。いつからだって、誰だって飛び出していくんだから。不安や恐れは置いて、翼をひろげよう。

あなたの中のしあわせを掴みにいこう。

奇跡の6か月を経て、新しい物語が始まる

あなたからは見えていないあなたの個性や魅力を発見するには、あなたを客観的に見てもらうことが一番。例えば、プロカメラマンに撮られてみる。自分で選ばないような洋服を提案されて着てみる。プロのメイクさんにあなたを引き立てるメイクをしてもらう。

そういう体験を通じて、あなたの新たな一面が出てくるでしょう。そして、新しいワタシに気づくきっかけを沢山味わうことで、あなたの方向性がわかり、生きたい生き方がどんどん近づいてくるのです。

だから、このサービスはカメラマンがただ撮影をする、というものではありません。TSUGUが、ただあなたという存在を360度、色々な角度から見ます。数千人をファインダー越しに魅力を見

つけ、切り取り続けてきたTSUGUだからこそ、あなたの魅力を引き出すことが出来ます。

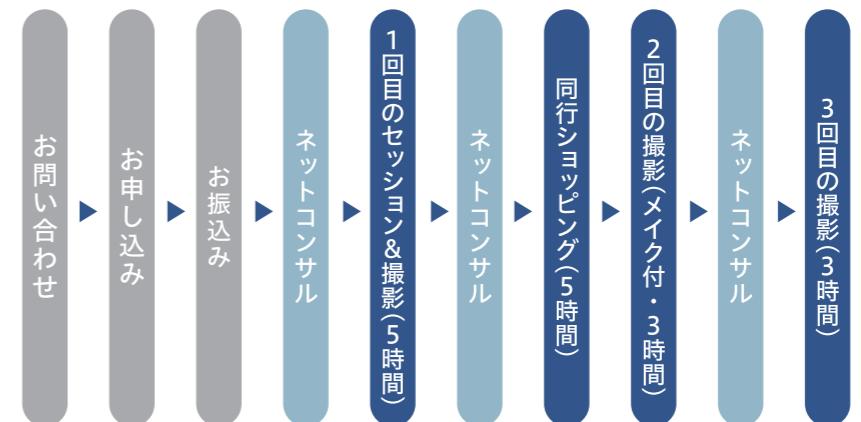
見せ方が変わると、内面もすぐ反応します。視覚から、触覚から、ダイレクトに脳に刺激を与える。そうすると外見も内面も、自分の在りたいようになっていきます。だから、外見からもアプローチする。これは見せ方と見え方のプロ、客観的に見てくれる人に頼むのが近道です。

6ヶ月の間に、ライフコンサルティングや同行ショッピング、プロによるメイク、そして3回の撮影を行います。このステップを通じて、あなたはどんな状態で生きたいのかを決めます。いまの見え方から、現状を知り、受け入れ、向き合う。その上で、どう未来を描くのかをTSUGUと一緒に考え、一緒に作っていきます。

見た目も内面も、あなたらしさを輝かせ、他人とは違う魅力を惹き出す。決められたことをやっていく人生ではなくて、あなたが決めていく。どう生きるかを決断するわけではなく、どう生きるかを選択する。自分で選んでいく人生。この6か月を終えた時、あなたは、そんな人生に踏み出す。

外側がかわって、所作がかわって、内面が変わる。そして、あなたの新しい物語が始まります。

ライフデザイン・フォトの流れ



最後に

僕は写心を撮るということがずっと好きです。

人を撮る度に、個性ってそれぞれで
それぞれが美しい形である、と感じます。

あなたが思うあなたってもっと色々な側面があります。
母親の面、娘の面、妻の面、社長の面

ほんとに色々な役割をやっているのが女性。
でも、あなたが思うあなたは一つの側面でしかないです。

私ってこうだから、って自分のことは思いがちですけど
“あなたが思うあなた”という枠から解き放つのが写心撮影。

たった一人の女性に戻り
あなたの個性に光を当てていきませんか。

この世界の美しさを
あなたの個性を魅力的に映し出すのが
僕、人柄写心家の役割です。

あなたの魅力を惹き出すお手伝いをさせてください。

写真撮影は、特別な人のためにあるものではなく
自分を魅力的に輝かせたいすべての人のためにあるのですから

